



株式会社ダイテック クラウド事業
東京都品川区南大井 6-16-19 大森 MH ビル Tel.03-5762-8660
https://www.kensetsu-cloud.jp/

プロモ隊の全国津々浦々 2022.2.7 第6号
取材に行ってきました

取材日: 2022.11.1

日本ハウジング株式会社様
注文分譲クラウド DX 現場 Plus

大分県
大分市

非常に安心できるバックグラウンドと しっかり耳を傾けてくれる姿勢に惹かれました

「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置する大分県。戦国時代には南蛮貿易が盛んに行われるなど、古くから国際色豊かな都市として繁栄し、県指定の有形文化財（建造物）の数は日本一。また源泉数・湧出量も日本一を誇り、全国的に有名な別府温泉や湯布院温泉をはじめとした温泉地が多数あることから「おんせん県」とも呼ばれています。そんな魅力たっぷりの大分県大分市で、地元の地域材にこだわった注文住宅を手掛ける日本ハウジング株式会社さんにお話を伺いました。

— Profile — 家づくりの理念は「大分のための大分の家」を作ること

大分は1次産業がとても豊かで木や珪藻土や「七島藪」(しちとうい)という畳表だったり、家の材料となるものがふんだんにあります。それにまつわる地域産業も発達していて、大分の職人さんと大分の材料で家をつくるということにこだわっています。この「大分のための大分の家」はお客様にとって、非常に愛着がわきますし、余分な添加物の入らない地元の素材を使っているの、空気も汚れず、家の中でしっかり深呼吸ができます。寝ている間に身体がちゃんと元に戻り、次の日元気に出かける。そんな

な家を作りたいです。弊社は、技術スタッフが営業から行います。同じお客様に対して家具作りや造園まで手厚くサポートできるので家全体がまとまり、バラバラの会社に依頼したものは完成度が違います。お客様にとって一生に一回の家なので悔いの残らないものを作ろうと、一生懸命頑張っています。



代表取締役社長
馬場 鉄心様



日本ハウジング DATA

創業50年。家だけを作るのではなく、「家」「庭」「インテリア」すべてを同時設計し敷地全体のトータルデザインを手掛ける。家づくりに関する情報発信の場として暮らしの研究室「暮.Labo」を展開。2000冊を所蔵したbook cafeや「注文住宅の基礎」を学べる暮.Laboセミナー、ものづくりのワクワクを体験できる暮.Laboワークショップを開催している。大分の地域材を使い、大分の職人さんと家を建てることで大分を豊かにする「地域循環経済」で地元の活性化に貢献している。

事務所2階のインテリアショップ「Tsu-nagou」。「未来に伝えたいもの」をコンセプトに、素材とデザインにこだわったアイテムを取り揃える。

—ダイテックとの出会いから導入まで—

一番の決め手は、会計まで一気に通貫でつながること

ダイテックさんは会社としてのバックグラウンドがしっかりしていて非常に安心できる場所がまず大きかったですね。あとは私たちの意見を吸い上げてくれようとするその姿勢。買って終わりではなく、改善が加えられるという期待感がありました。実際、一番最初の状態から見ると別物ぐらい良くなっていますね。そして他社ソフトとの一番の差というと、やはり発注までが連動できているところですね。一気に通貫で回したかったので、会計のところまで全部繋がられるというのがダイテックさんを選んだ一番の理由です。

—現場 Plus — 新入社員の育成も効率的に

新入社員が入社して、従来だと先輩社員が一人付きっきりで、つい先輩に甘えてしまい成長スピードがあまり速くありませんでした。クラウド管理をすることで、現場の状況は僕たちもチェックできるので、基本的には新人1人で現場管理を任せられる。責任を持たせながら組織として社員を見ておけるのは魅力だと思います。

ペーパーレスの実現で残業は4割減

残業は、4割ぐらいは減ったと思います。一番の要因は、ペーパーレスですね。紙を準備したり印刷する手間もですけど、それよりも図面が変わったり、更新される度に準備して現場に持って行くことが無くなったのが大きいです。クラウド管理することでそういったところはかなり改善になったかなと思っています。新型

編集後記
取材終了後に、吉田様と「会社をより良くしていくためには」語り合い、その熱い思いに感銘を受けました。またお礼をお伝えしたいのは私たちの方なのに、後日ご丁寧に丁寧なお礼のお葉書をいただき、とても心が温まりました。弊社クラウド製品の運用はもちろん、今回の取材内容の発信を通じて、日本ハウジング様のお力になりたいという思いでいっぱいです。改めて、この度は取材へのご協力誠にありがとうございました！（東松）
馬場社長の家づくりの理念と吉田取締役のIT活用術がとても印象的な取材でした。「ITの力で高品質な家をスピード感をもって建てることで優位性を持つ」という考えはまさにDXそのもの。今後の更なるDX化が楽しみな工務店様です。（江谷）

コロナの件もありましたし、技術職でありながらリモートで仕事ができる体制になりましたね。

お客様からも喜びの声をいただきました

お客様とのやり取りが、前に使っていたクラウドアプリだと、こちらから一方通行の連絡しかできませんでした。現場Plusを導入してからは打合せ段階からチャットでやり取りをしています。いつでも気軽に連絡できるようになったので、お客様からは安心して使い勝手が良いという意見をいただきました。導入してよかったと感じた理由の一つです。



取締役 設計士
吉田 颯太様

—注文分譲クラウド DX— 社内の業務効率化について話しかうきっかけになりました

積算関係は見積を早く作らないといけなとか、発注書が届いていないとか急ぐ用事が多いのですが、クラウド上で管理することでいつでも誰でも触れるようになって、すぐに対応できるようになりました。後は一元化したことで確認するソフトの数が減り、スタッフ全員が同じソフトを触るようになったので、社内業務の進め方について意見があちらこちらからあがってくるようになりました。業務の標準化ができたというのも大きく変わったことの1つです。

品質とスピードを両立したいならとにかく早く導入すべき

個人的見解ですけど今の景気や住宅の需要量をみても、今後の住宅業界には速さと品質の両立が求められていて、そのためにはクラウドで一元化していくことが最優先かと思います。設計と現場管理というのは緊急性の高い事やイレギュラーな事がすごく多いので、いつでもどこでも誰でもが、どの業務でもできるようにしておくことが大切かと思います。業者さんによっては慣れるまでに時間がかかるかもしれないので、とにかく早く導入された方が良いと思います。